

寿楽院寺報

〒369-1245 深谷市荒川 9 8 3

高野山真言宗 荒瀬山 寿楽院

住職 高橋 敬行

電話 048-584-0302

生かせいのち

弘法大師(お大師さま)を宗祖とし、高野山 金剛峯寺を
総本山とする高野山真言宗のお寺です。

「本尊は「不動明王」です。

「本尊を拝むときは「ナウマク サンマンダ バザラダン
カン(小咒)」とお唱えします。

真言宗について

真言宗は、仏教の心髄の教えを説く密教の宗派で、弘法大
師によって日本に伝えられました。

根本の御仏は、宇宙の本体である法身仏「大日如来」です。
大日如来の御真言は、オン アヒラウンケン バザラ
ダバン」とお唱えします。

高野山真言宗は、弘法大師の御廟を信仰の源泉とする宗
派です。

弘法大師について

弘法大師は、お名前が「空海」で、灌頂名を「遍照金剛」
とお呼びします。

宝龜五年(774)六月一日に、現在の香川県善通寺市
で御誕生になり、承和二年(835)三月二十一日に、和歌
山県の高野山で御入定なされました。

弘法大師の御宝号は、「南無大師遍照金剛」です。弘法大
師を拝むときは、この御宝号をお唱えします。

教義と信仰

宇宙のすべてのものは、大日如来の「いのち」の顕れであ
り、この「いのち」の世界をあらわしているのが、「曼荼羅」
です。

高野山真言宗の教えは、「いのち」の平等と尊厳をさと
り、大日如来の智慧をこの世に実現するために、「生かせ いの
ち」を実践し、共存共生の世界をめざすことにあります。

本宗の「御宝号念誦運動」は、弘法大師の共利衆生の精神
に立って、すべてが「いのち」を共にしている社会の福祉を
めざす具体的な活動です。

弘法大師は、未来永劫にわたって衆生を救済すると御誓願
され、高野山奥之院に入定留身されています。同行二人の信
仰のもと大師の御教えをこの世に生かし実現することが、私
たちの務めであり、喜びです。

仏教が生んだ日本語

「ありがとう」

普段なにげなく使っている、お礼の
言葉。これも語源は「有り難し」とい
う仏教語である。「法句経」の「ひと
の生をうくるはかたく死すべきもの
の、生命あるもありがたし」と言われ
ている。

人と生まれた生命の驚きを教える教
説である。だから「有り難し」とは、
その仏説を聞き、人の生命の尊さに目
覚めた、大いなる感動を表す言葉でも
ある。それがいつしか感謝の意に転用
されるようになったのである。



高野山奥の院(玉川に架かる御廟橋から奥の院を臨む)



お大師さん誕生の地(四国八十八カ所霊場第七十五番
善通寺の大楠、樹齢一千四百年)

空海の言葉 シリーズ

沈迷の端驚かずんばある可からず

いまの自分が、極楽と地獄の剣が峰に
立っていることに驚くがよい

「剣が峰」とは、火山の噴火口の周囲のことです。

相撲の土俵も剣が峰といえます。熱戦を繰り広げて
いる二人のお相撲さんは夢中になっていますが、どち
らかが土俵を割ります。

この剣が峰が極楽と地獄を分ける分岐点です。

弘法さんは、「人生は、いつもいまがあなた
の剣が峰だよ」といわれているのです。

